

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、お客様、地域社会その他様々なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、当社の持続的な成長につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、社会情勢や自社の状況を踏まえた適切な時期と方法で、賃金の引上げを行うとともに、働きやすさ向上も含めた総合的な労働条件の向上、人材育成の拡充等の人材投資に積極的に取り組むことで、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、従業員の士気向上、処遇改善及び建設業と当社の更なる魅力向上を目的に、賃金引上げによる人事・給与制度の改善、人材育成・研修制度の充実やダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進などの人材投資に取り組むとともに、エンゲージメントサーベイの実施とその結果に基づく継続的改善を図ります。

これら施策により、将来の人材確保・育成と従業員のエンゲージメント向上を図り、当社の持続的な成長・競争力強化を目指してまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2020年8月27日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.taisei.co.jp/corp/rinen/pdf/partnership.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、ESGやSDGsの考え方を踏まえ、当社の株主、お客様、従業員、取引先、地域社会その他の様々なステークホルダーに支えられていることを十分に認識した上で、自らが担う社会的な責任を果たしてまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

令和5年3月1日

大成建設株式会社

代表取締役社長 相川 善郎